

海外事務所 主な活動報告（令和 7 年 5 月）

《ワシントン州事務所》

日本の祝日に合わせて、恒例のワシントン州日本文化会館「こどもの日」イベントが開催された。日本や日系の文化を紹介するもので、例年、日本に関心のある多くの家族連れ等が来場するイベントとなっている。

今回のテーマは「妖怪」となったことから、当事務所は、ひょうごフィールドパビリオンにも認定されている福崎町の妖怪を中心に紹介するブースを出展した。家族連れの方に河童の塗り絵や折り紙などを実施するとともに、福崎町等を含めた観光ルート等を紹介すると、来場者からは、妖怪に対して興味関心が多く寄せられ、ぜひ訪れてみたいといった声も聞かれた。

今後とも、文化イベント等も含めた様々な機会を通じて、兵庫の観光 PR に取り組んでいきたい。

＜「こどもの日」イベントでの妖怪（福崎町）プロモーション＞

- 日 程：2025（R7）年 5 月 4 日（日）
- 場 所：ワシントン州日本文化会館
- 参加者：約 1,000 人
（うち、兵庫県ブース来場者約 300 人）



兵庫県ブースの様子

《パリ事務所》

パリ市内の各大学で日本語を学ぶ学生の交流サークルTroque Ta Langue（仏語で「言葉を切り替える」の意）との共催で、兵庫の酒をPRする講座・試飲会を開催した。将来の日仏関係を担う若者に、「日本酒の銘醸地＝兵庫」との認知を広めることが狙いで、昨年10月にもパリ・シテ大学日本語学科の学生サークルと同様のイベントを共催した。

当事務所による兵庫の酒講座と、兵庫の酒 5 銘柄と熟成チーズや熟成サラミ等のフランスの食品のペアリングを行った。熟成され旨味が強いフランスの食品と日本酒の相性は良く、参加者から好評を得た。自宅での日常的な飲酒シーンでワインの代わりに日本酒を取り入れることを提案し、パリ市内で兵庫の酒を取り扱う店舗を紹介した。また、参加者へのアンケート調査も行った。

＜日本語学科学生団体との兵庫の酒試飲会＞

- 日 程：2025（R7）年 5 月 16 日（金）
- 場 所：パリ国際大学都市・日本館
（日本の財団が運営する学生寮）大サロン
- 参加者：日本語学科学生団体の会員 約 30 人



試飲会の様子

《香港經濟交流事務所》

香港日本語教育研究会が主催する第20回小中高生日本語スピーチコンテストが、同研究会の特別名誉顧問である在香港日本国総領事館の三浦総領事（大使）のほか、日系企業、県事務所、決勝進出者の関係者など約90人が見守るなか開催された。

当事務所は、同研究会から依頼を受けて本事業に協賛した。

コンテストの内容は、小学生の部が詩の朗読、中学生の部が詩の朗読、演劇、高校生の部がスピーチ&質疑応答で、決勝進出者の38人（小学生10人、中学生20人、高校生8人）は、応募総数約100人から予選を通過した生徒で、非常に日本語能力が高く、表現力も豊かであった。

また、高校生の部のスピーチで、日本の妖怪に関心があり、将来は妖怪の研究者になりたいという発表をした高校生がいたので、コンテスト終了後に、兵庫県福崎町が妖怪の里として、妖怪文化を積極的に発信していることを伝えたところ、是非行ってみたいと関心を示してくれた。

今後とも、現地事務所として、同研究会と連携し、日本語学習者に対して、本県への関心を高めてもらう取組みを進めていく。

<第20回小中高生日本語スピーチコンテストへの支援>

- 日 程：2025（R7）年5月11日（日）
- 場 所：香港大学 專業進修学院
- 参 加 者：決勝進出者38人、来賓・関係者等約90人



中学生の部・演劇入賞者